

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

福岡県 北九州市

自治体名：福岡県北九州市

担当課名：教育委員会学校教育部生徒指導課

電話番号：093-582-2369

1.自治体の基本情報

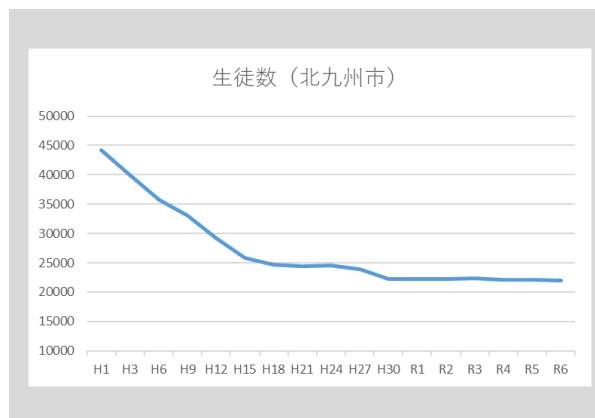
基本情報

面積	486.8 km ²
人口	906,941 人
公立中学校数	63 校
公立中学校生徒数	22,059 人
部活動数	532 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	北九州市部活の未来を考える会
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画未策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

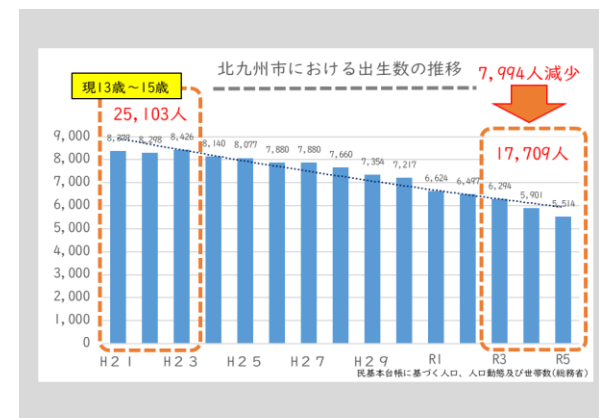
(1) 中学校数及び生徒数

現在、北九州市立中学校は63校あり、令和6年度の生徒数は22,046名である。北九州市の生徒数の現状も、全国的な傾向と変わらず、減少傾向にあることから、従来の部活動数の維持が困難となってきている。少子化の進展により、軟式野球やサッカーなどの集団スポーツを中心に、一つの学校の部員数では、大会等への出場選手数を満たすことができないため、他校と合同部活動としたり、部員数の減少に伴う廃部や休部によって生徒の選択肢が狭まったりするなど、様々な影響が出ている。



(2) 部員数及び設置部数

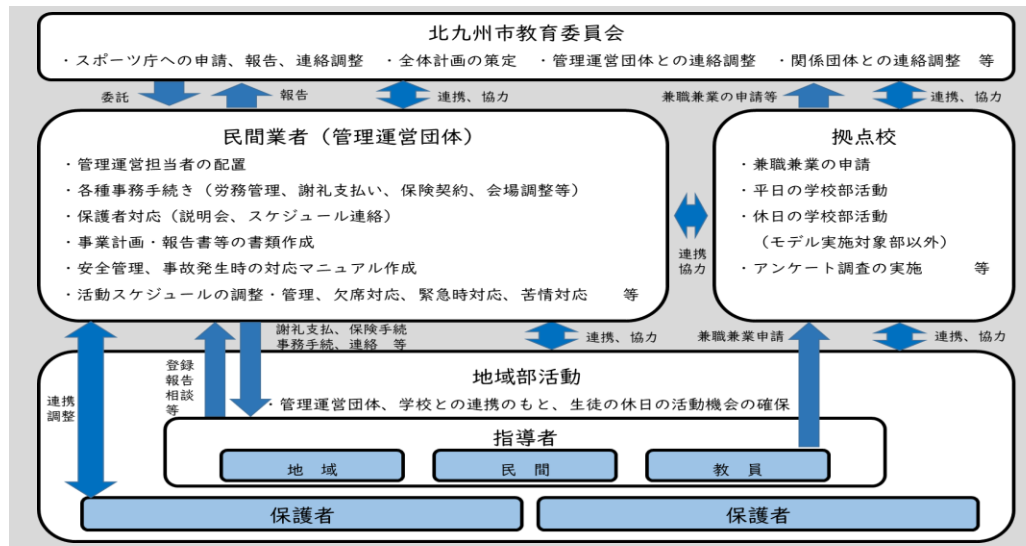
令和6年度に設置された部活動は、運動部532部、文化部180部、計712部であり、部活動加入者数（部員数）は15,690名、加入率は71.1%である。平成3年度と比較すると部活動設置数及び部活動加入率はほぼ横ばいだが、部員数は大幅に減少している。このことから、一部活動当たりの部員数が減少していることが想定される。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・事務局
- ・推進計画の策定
- ・各種制度設計

◎首長部局

- ・指導者の確保等における関係団体との連絡調整について連携

年間の事業スケジュール

4月：学校向け事業説明会

5月：第1回 北九州市部活の未来を考える会開催

7月：託先業者の公募・決定

パブリックコメントの実施

10月：モデル事業開始

第2回 北九州市部活の未来を考える会開催

11月：第3回 北九州市部活の未来を考える会開催

12月：モデル事業中間報告会

1月：第4回 北九州市部活の未来を考える会開催

2月：アンケート調査

大学生を部活動指導者として派遣

モデル事業最終報告会

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	62 校	実施した地域クラブ総数	3 クラブ + 9 部活動
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（1 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		2 クラブ
全体の指導者数	23 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
地域バスケットボールクラブ	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	月 4 回 全18回	午前	3年：2人 2年：20人 1年：14人	10月20日～2月22日	北九州市立高見中学校	5 人	3 人 （内、兼務3人）	なし	大会参加なし
地域バレーボールクラブ	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	月 4 回 全14回	午前	3年：3人 2年：9人 1年：9人	10月20日～2月22日	北九州市立大谷中学校	5 人	3 人 （内、兼務3人）	なし	大会参加なし
陸上競技クラブ （休日部活動移行型）	総合型地域スポーツクラブ	陸上競技	月 4 回 全14回	午前	3年：0人 2年：15人 1年：18人	10月22日～2月22日	北九州市立篠崎中学校	3 人	3 人 （内、兼務3人）	なし	学校部活動として大会参加

③その他の開催実績

- 部活動への大学生派遣モデル
 - ・ 令和7年2月下旬～3月上旬、大学生を学校部活動に派遣し、顧問教員とともに指導
 - ・ 種目は、バレーボール、卓球、軟式野球、ソフトテニス、サッカーの5種目で9人を派遣

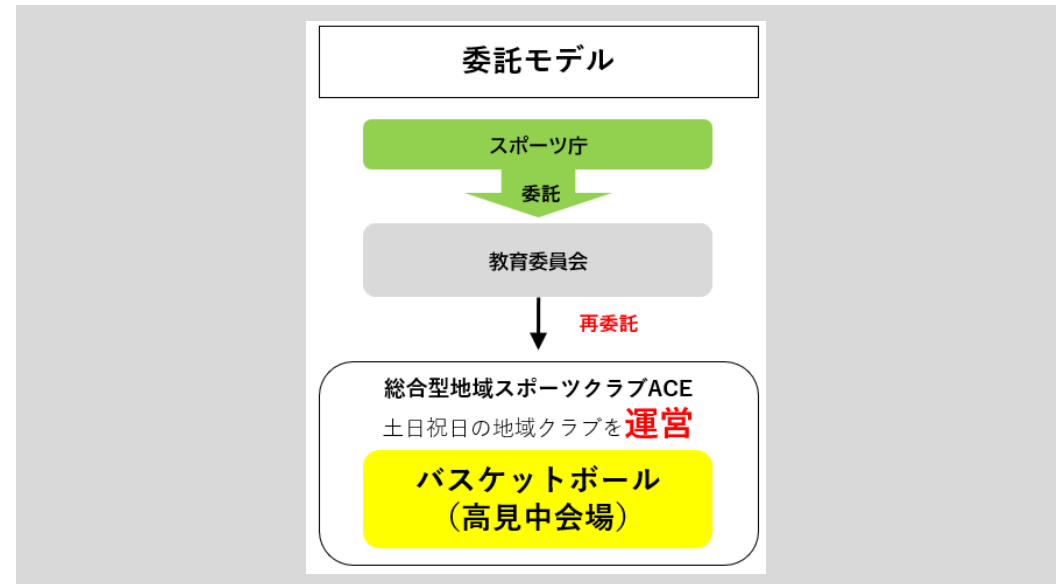
2.実証内容と成果

主な取組例

●地域バスケットボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ
期間と日数	10月20日～2月22日 月4回程度
指導者の主な属性	社会人
活動場所	北九州市立高見中学校
主な移動手段	公共交通機関、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：地域バスケットボールクラブの企画・運営を行う。

●指導者 5名

役割：生徒の実技指導。1回の活動に2～3名の指導者を派遣。

●運営スタッフ 3名

役割：保護者等への連絡、日程の調整、事務処理 など。

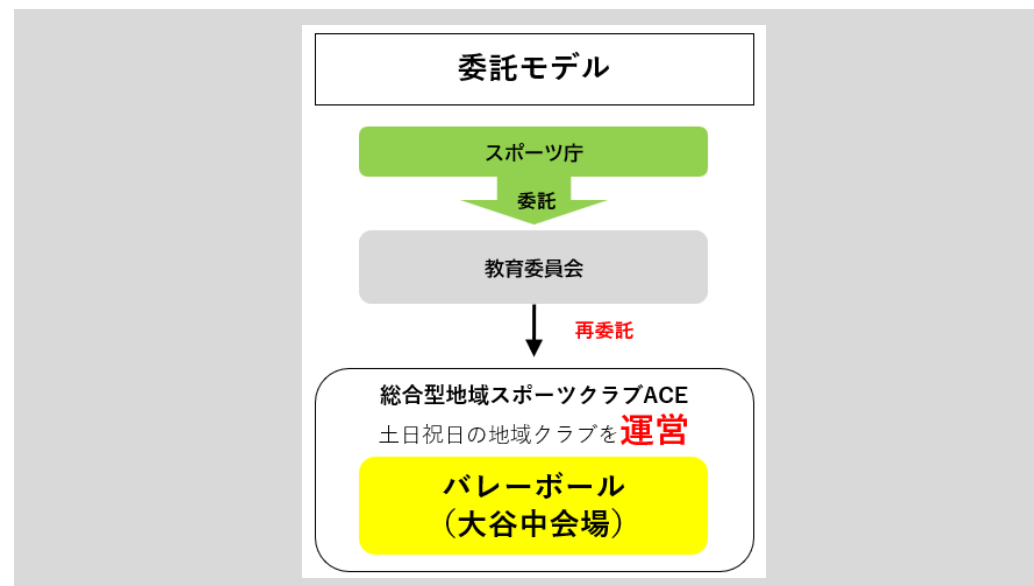
2.実証内容と成果

主な取組例

●地域バレーボールクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バレーボール
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ
期間と日数	10月20日～2月22日 月4回程度
指導者の主な属性	社会人
活動場所	北九州市立大谷中学校
主な移動手段	公共交通機関、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：地域バスケットボールクラブの企画・運営を行う。

●指導者 5名

役割：生徒の実技指導。1回の活動に2～3名の指導者を派遣。

●運営スタッフ 3名

役割：保護者等への連絡、日程の調整、事務処理 など。

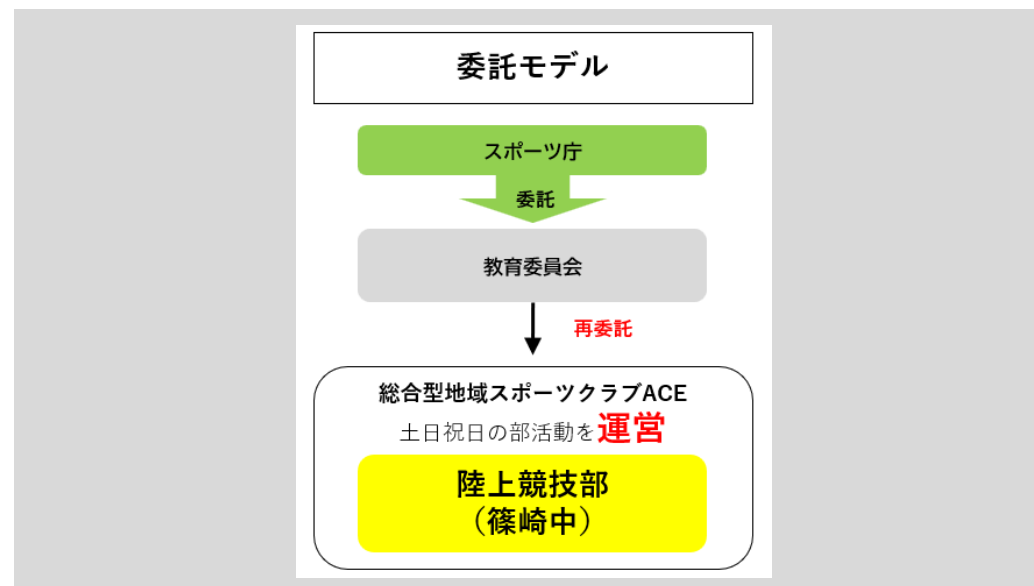
2.実証内容と成果

主な取組例

●陸上競技クラブ（休日部活動移行型） 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	総合型地域スポーツクラブ
期間と日数	10月22日～2月22日 月4回程度
指導者の主な属性	社会人、大学生
活動場所	北九州市立篠崎中学校
主な移動手段	徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：陸上競技（休日部活動移行型）の企画・運営を行う。

●指導者 4名

役割：生徒の実技指導。1回の活動に2～3名の指導者を派遣。

●運営スタッフ 3名

役割：保護者等への連絡、日程の調整、事務処理 など。

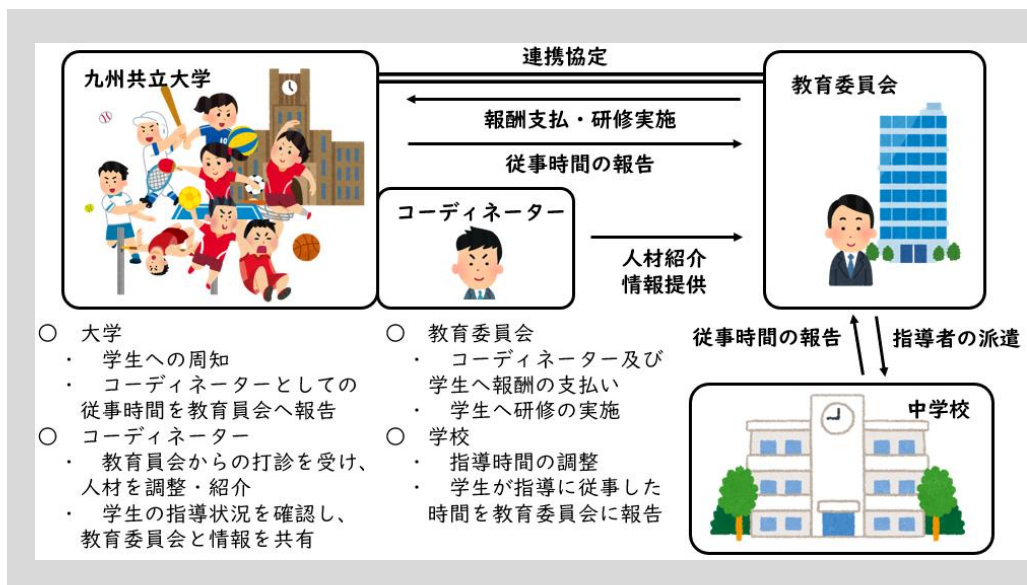
2.実証内容と成果

主な取組例

●大学生派遣モデル 活動概要

実施した種目 (学校部活動)	バレーボール、卓球、軟式野球 ソフトテニス、サッカー
運営団体名	学校部活動
期間と日数	2月17日～3月2日 2～5回
指導者の主な属性	大学生
活動場所	各中学校
主な移動手段	移動なし
1人あたりの参加会費 等(年額)	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●顧問や指導者（大学生）の役割分担等

●部活動顧問

役割：監督

●指導者 9名

役割：技術指導

指導前に、コンプライアンス研修を実施

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備 / イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項（ア）

- モデルによる地域クラブの運営を総合型地域スポーツクラブに委託し、運営の方法等について検証する。
- 地域クラブ認定制度の構築に向け、認定要件を整備する。

取組の成果（ア）

- スポーツクラブやイベント開催に関する運営や指導のノウハウをもって、いる総合型地域スポーツクラブを実施主体とすることで、生徒・保護者が安心して参加することができた。
- 実施主体（総合型地域スポーツクラブ）にコーディネーターを配置することで、学校との連携がスムーズになり、施設使用時の課題等を整理することができた。
- 市が認定する「北九州市地域クラブ」の認定要件について、モデル実施の内容を踏まえ整理することができた。

今後の課題と対応方針（ア）

- モデル実践により得た地域クラブの運営のあり方について精査し、今後、地域クラブの設立を目指す方々に例示する必要がある。
- 今後、「北九州市地域クラブ認定要綱」を策定する予定であり、令和7年度中には、「北九州市地域クラブ」の認定を開始したい。

取組事項（イ）

- 指導者の量の確保のため、スポーツ関係団体等と連携し、人材バンクの基盤づくりを行う。
- 指導者の質を確保のための指導者研修のあり方を検討する。

取組の成果（イ）

- 人材バンクの基盤づくりについて、市内の大学と連携し、指導者として大学生を学校部活動へ派遣した。今後、継続して大学生の派遣を実施することを大学側と確認した。
- 指導者の確保の協力を求めるため、スポーツ競技団体にチラシ等を配布するとともに、協力を要請した。
- 研修制度構築のため、現在、部活動指導員等を実施している研修をもとに、内容を精査した。

今後の課題と対応方針（イ）

- スポーツ競技団体に協力を要請できたが、具体的な内容は詰めることができていない。「推進計画」策定後、詳細を周知するとともに、更なる協力要請が必要である。
- 人材バンクの制度設計を行い、登録方法等を整備する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化 / カ：参加費用負担の支援等

取組事項（ウ）

- 学校等と連携して部活動地域移行を進めていくため、中学校長会、小学校長会等において、本市の取組及び今後の見通し等を説明。
- スポーツ関係団体や大学との連携強化のため本市の取組を説明するとともに、今後の協力を要請する。

取組の成果（ウ）

- 定例の校長会議において、本市の取組及び今後の見通し等を説明するとともに、令和7年度中学校新入生説明会において、児童・保護者に対し、部活動地域移行の説明を行うことができた。
- スポーツ競技団体にチラシ等を配布するとともに、協力を要請した。
- 指導者の派遣について、九州共立大学と連携しすることができた。また、令和7年度以降の連携についても確認することができた。

今後の課題と対応方針（ウ）

- 北九州市における方向性を示し、関係団体との連携を強化するためにも、早急に「推進計画」を策定する必要がある。
- 令和7年度の早い段階で「推進計画」を策定するとともに、「ガイドライン」や「地域クラブ認定要綱」を示し、説明する場を設定する。

取組事項（カ）

- 地域スポーツクラブの運営や指導者配置等に必要コストを検証するとともに、このようなコストをどのように賄っていくかについて受益者負担のあり方を検証する。

地域クラブ運営に必要な受益者負担額の試算 （「地域バスケットボールクラブより」）

報償費（講師及びスタッフ）	251,680円
旅費（講師及びスタッフ）	53,900円
合計	305,580円

- 以上の額から1回の一人当たりの負担額は、472円となる。
- 運営に係る経費等を受益者負担とするとより高額となる。

成果及び今後の課題と対応方針（カ）

- 中学生のニーズ応えることで、満足感のある活動となっている。
- 受益者負担を一定の額に抑えることができると想定するが、種目によっては会費が高額になったり、同様の活動が保証されなかったりすることが予想されるため、会費を抑制するための対応策等を検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○ 北九州市では、令和4年度よりスポーツ系部活動の地域移行モデル実践に取り組むとともに、令和5年度には、「北九州市部活の未来を考える会」を立ち上げ、検討を重ねてきた。

○ 令和6年度は、昨年度に引き続き、地域クラブ型モデルを2クラブ、休日部活動移行型を1クラブ立ち上げ、運営体制や指導者の質の保障及び量の確保、関係団体との連携、受益者負担のあり方等について検証した。

○ 「地域クラブ型モデル」には、57名の中学生が参加し、指導経験や競技経験のある社会人指導者から指導を受けた。参加者及び保護者等からは、非常に好評をいただいております、一定のニーズがあることもわかった。

● その反面、運営コストの全てを国からの委託費で賄っており、今後、受益者負担による検証も必要であると感じている。

○ 検証結果をもとに、子どもたちの活動機会を確保するため、北九州市における地域移行のあり方の検討を継続する。

●成果の評価及び今後に向けて

<各取組項目による成果>

- 運営体制のノウハウの獲得
- 地域クラブ認定要件の整理
- 大学との連携
- 関係団体の理解促進

<各取組項目による課題>

- 早急に「推進計画」を策定
- 運営体制の例示
- より多くの団体への周知及び協力要請
- 受益者負担のあり方の検討



北九州市における地域移行のあり方を継続して検討
「人材バンク」、「地域クラブ認定制度」などの設計
取組内容の周知及び説明

○ 令和7年度もモデル実践による検証を行ない、北九州市における地域移行のあり方を継続して検討する。

○ 成果・課題を精査し、各種制度設計を進める。

○ 児童生徒や保護者、学校関係者、関係団体等に取り組内容を周知し、部活動地域移行の理解を得る。

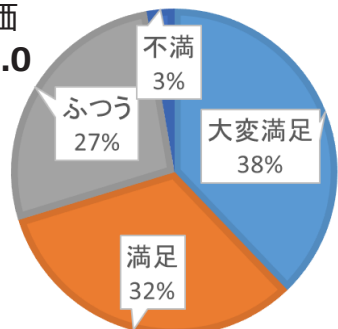
2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

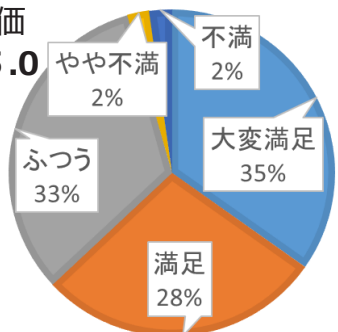
Q.モデルの満足度（生徒）

平均評価
4.02/ 5.0



Q.モデル実践の満足度（保護者）

平均評価
3.91/ 5.0



●参加者の声

中学生

- 普段の練習よりメニューが分かりやすかった。達成感を感じられた。
- 自分に必要な能力などをアドバイスしてもらい、改善することができた。
- 専門的な指導を受けることができた。
- 普段とは違い、きつい練習でも遊びのような要素を取り入れてくれるので楽しみながらできた。
- 基礎練習ばかりであり練習にならなかった

保護者

- 専門性の高い指導を受けることができています。
- 他校との生徒との交流することで、コミュニティが広がっている。
- 部活動引退後から高校入学まで、活動できる場が無かったので助かった。
- 学校ではできないスポーツクラブに参加することができた。
- 活動日が少ない。平日も可能な日は指導してほしい。もっと長時間指導してほしい。
- 経験者と未経験者を分けて練習してほしい。
- 開催場所が遠いため、通うのが困難だった。

指導者

- 自分自身が経験した練習や知識を伝えることができ、楽しかった。
- できない事が出来るようになった時に、とても嬉しそうなのが印象的だった。
- （指導を受ける姿勢など）技術面以外の指導をどこまですべきか悩んだ。
- 本気で活動したい生徒、遊びで活動したい生徒とわけて活動した方がいいと感じた。
- 急な仕事等で指導者側の欠員に対する人員確保が課題だと感じた。

2.実証内容と成果③

広報資料

北九州市教育委員会主催
令和6年度部活動地域移行モデル事業

そうだ バスケット やってみよう

活動場所：北九州市立高見中学校体育館 他
(北九州市八幡東区高見四丁目4番1号)
活動日：令和6年10月～令和7年2月の
土日いずれか1日
活動回数：15回程度
費用：無料

問合せ
教育委員会生徒指導課
093-582-2369

事前の説明・体験会を
10月13日(日)9:00～11:30
高見中学校体育館で行います。
参加希望の方は右のQRコードより申請
してください。10月9日(水)メ切
詳細についてはメールにてご連絡します。



バスケットを始めてみたい！
新しい仲間と活動してみたい！
体を動かして体力を高めたい！

※ 説明・体験会中のけが等につきましては、保険の対象外となります。

北九州市教育委員会主催
令和6年度部活動地域移行モデル事業

地域のオリンピック バレーが強い!! 地域バレークラブ 募集中!

バレーボールを始めてみたい！
新しい仲間と一緒に活動したい！
体を動かして体力を高めたい！
そんな、あなた！
一緒にバレーしませんか!?

活動場所：北九州市立大谷中学校体育館 他
(北九州市戸畑区東大谷1丁目9番1号)
活動日：令和6年10月～令和7年2月の
土日いずれか1日
活動回数：15回程度
費用：無料

問合せ
教育委員会生徒指導課
093-582-2369

事前の説明・体験会を
10月13日(日)13:00～15:30
大谷中学校体育館で行います。
参加希望の方は左のQRコードより申請
してください。10月9日(水)メ切
詳細についてはメールにてご連絡します。



※ 説明・体験会中のけが等につきましては、保険の対象外となります。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【地域バスケットボールクラブ】



【地域バレーボールクラブ】



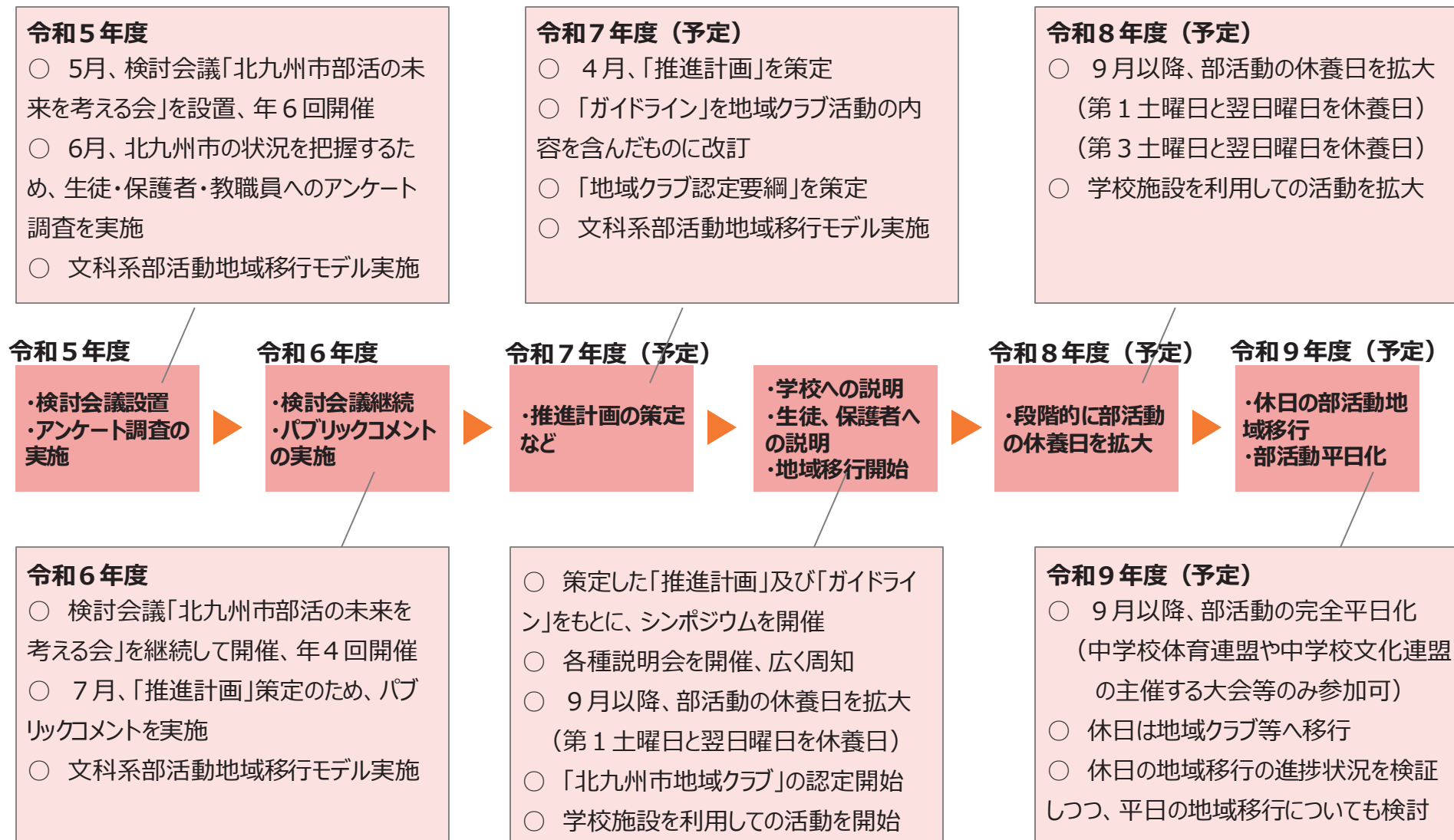
【陸上競技（部活動移行型）】



【大学生派遣モデル】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	～令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
平日	週1回の休養日 原則2時間	週1回の休養日 活動時間の短縮 (終了時刻の設定)	週1回の休養日 活動時間の短縮 (終了時刻の設定)	部活動の完全平日化 週1回の休養日 活動時間の短縮 (終了時刻の設定)
		拠点校型(エリア型)モデル拡充、周知		拠点校型(エリア型)の 開始
	合同部活動、連携部活動 →			
土日・祝	土日いずれかは休養日 原則3時間 休養日の拡大の周知	休養日の拡大 (第1週は完全休養)	休養日の拡大 (第1・3週は完全休養)	休日は完全休養日 (中体連や中文連の主 催する大会のみ)
		人材バンクの整備 地域クラブ登録制 の制度設計及び周知	地域クラブ登録制の開始 →	地域クラブ等へ移行
	モデル →			
仕組み づくり	推進計画策定			適宜、修正を加えながら より良い運用を目指す
	ガイドライン改定	運用開始 →		